

## 議事概要（地域医療支援病院の申請及び病床機能再編支援事業を除く）及び意見交換での主な意見等

## 1 紹介受診重点医療機関について

## 概要

令和7年度の外来機能報告に基づき、令和8年度に紹介受診重点医療機関と位置付ける医療機関について協議

## 【協議方針】

**基準**：初診に占める重点外来の割合40%以上かつ再診に占める重点外来の割合25%以上**水準**：紹介率50%以上及び逆紹介率40%以上

(1) 紹介受診重点医療機関とする医療機関

意向がある医療機関の内、

①国が示す**基準**を両方満たす ⇒ 紹介受診重点医療機関とする。②国が示す**基準**のいずれか一方を満たし、国が示す**水準**を両方満たす ⇒ 協議により、紹介受診重点医療機関とする。

(2) 現に紹介受診重点医療機関であるが令和7年度報告で基準等を満たさない医療機関の取扱い

ア 現に紹介受診重点医療機関であり引き続き意向があるが、令和7年度報告で協議方針①又は②を満たさない場合、数値を著しく下回る場合を除き、令和8年度は引き続き紹介受診重点医療機関とする。

イ 令和6年度報告で協議方針①又は②を満たさなかった紹介受診重点医療機関が、令和7年度報告も引き続き①又は②を満たさない場合、令和8年度は紹介受診重点医療機関としない。

**都の【協議方針】に賛成 → 全圏域で協議が整った**（協議が整った101医療機関の詳細は5頁以降参照）

## 2 2025年に向けた対応方針について

## 概要

各医療機関が提出した2025年に向けた対応方針について確認し、圏域における対応方針の合意を図る

「2025年を見据えた構想区域で担うべき医療機関としての役割」や「2025年に持つべき医療機能ごとの病床数」を記載した対応方針について、前回の調整会議の後に対応方針を提出した医療機関や、対応方針を変更した医療機関について確認

**各医療機関の方針を尊重する形で、全圏域で合意**

議事概要（地域医療支援病院の申請及び病床機能再編支援事業を除く）及び意見交換での主な意見等

3 意見交換 「東京の特性を踏まえた医療機関機能について」

概要

2040年に向けて高齢者の医療需要増と医療・介護の人材不足が懸念される中、**東京の地域特性などを踏まえた新たな地域医療構想の策定に向け、都における医療機関機能の方向性について意見交換を実施**

意見

- 特に強化すべき医療機関機能など、考慮すべき都や各区域特有の実情に関連して
  - ・大学病院等は三次救急に特化すべきであり、そのために、機能分担の情報共有・経営面の配慮・患者・家族への理解が必要
  - ・療養型病院が不足。昼夜で対応可能な医療内容が異なる場合もあるため、地域ごとの疾患別夜間対応の整理等も必要
  - ・単身高齢者や老々介護世帯では在宅復帰が難しく、特養や介護医療院の不足がボトルネック
  - ・人口減少地域では大病院が一次から三次まで担わざるを得ない特性がある。地域特性に応じた整理が必要

議事概要（地域医療支援病院の申請及び病床機能再編支援事業を除く）及び意見交換での主な意見等

意見（つづき）

○医療機関機能ごとの受入患者像（基礎疾患、介護度、ACPなど）に関連して

- ・ 高齢者救急は軽症例も多く、一般救急病院がファーストタッチを担って必要時のみ上り搬送する仕組みが重要。誤嚥性肺炎や尿路感染症など地域で対応可能な例は救急隊任せにせず搬送ルールを事前に定め、在宅復帰や施設入所まで見据えて地ケア病棟等へつなぐ運用が重要
- ・ 高齢者救急では複合疾患を持つ患者も多いため、総合診療が必要
- ・ ACPが十分なら三次救急に搬送せずに済むケースが多いため、住民理解も含めた地域での普及が必要

## 議事概要（地域医療支援病院の申請及び病床機能再編支援事業を除く）及び意見交換での主な意見等

## 意見（つづき）

## ○医療機関機能に基づき、効果的に連携するために必要な取組に関連して

- ・ 超高齢者の三次救急搬送増でICUが逼迫しているため、高度急性期が不要な症例は早期に下り搬送するなど役割分担を進める必要。重症でも侵襲的治療を望まない高齢者を看取りを含め受け継げる転院先が不足しており、バトンタッチの在り方を整理すべき
- ・ 救急隊による搬送時の振り分けにはACPが不可欠であり、脳卒中のような救急隊が分かりやすい仕組み作りが必要
- ・ 開業医の立場では、重症の患者がウォークインで診療に来た際に、空床情報や受け入れ可否がわからず調整に苦勞しているため、トリアージを行うセンターがあると良い
- ・ 役割分担においては顔の見える関係づくりやWG等を通じた、病院特性の共有や診療情報の見える化が不可欠
- ・ 高齢者救急については在宅や施設などの状況を把握しているかかりつけ医の存在を踏まえたトリアージが重要であり、上り・下り搬送を含めて救急隊を交えた連携の強化が必要

この他、高齢者の医療需要増に対応する医療人材確保への懸念、派遣看護師の高額な紹介料による病院経営の圧迫、高齢者救急の役割分担を進めても、診療報酬や評価指標が現行のままでは経営が成り立たないといった意見も挙げられた。

# 【別紙】紹介受診重点医療機関として協議が整った医療機関一覧(1/5) ※塗りつぶしは新規

※特定機能病院・地域医療支援病院はR7.4.1時点

圏域	No	医療機関名称	区市町村	備考
区中央部	1	東京逋信病院	千代田区	
	2	社会福祉法人 三井記念病院	千代田区	地域医療支援病院
	3	日本大学病院	千代田区	
	4	国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院	中央区	特定機能病院
	5	聖路加国際病院	中央区	特定機能病院
	6	東京慈恵会医科大学附属病院	港区	特定機能病院
	7	独立行政法人 地域医療機能推進機構 東京高輪病院	港区	
	8	東京都済生会中央病院	港区	地域医療支援病院
	9	国際医療福祉大学三田病院	港区	
	10	虎の門病院	港区	地域医療支援病院
	11	順天堂大学医学部附属 順天堂医院	文京区	特定機能病院
	12	東京医科歯科大学病院	文京区	特定機能病院
	13	東京大学医学部附属病院	文京区	特定機能病院
	14	日本医科大学付属病院	文京区	特定機能病院
	15	地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立駒込病院	文京区	
	16	公益財団法人ライフ・エクステンション研究所附属永寿総合病院	台東区	地域医療支援病院
区南部	17	社会医療法人社団 東京巨樹の会 東京品川病院	品川区	
	18	N T T 東日本関東病院	品川区	地域医療支援病院
	19	大崎病院 東京ハートセンター	品川区	
	20	昭和医科大学病院	品川区	特定機能病院
	21	独立行政法人 地域医療機能推進機構 東京蒲田医療センター	大田区	
	22	東邦大学医療センター大森病院	大田区	特定機能病院
	23	医療法人社団松和会 池上総合病院	大田区	
	24	東京蒲田病院	大田区	
	25	日本赤十字社東京都支部 大森赤十字病院	大田区	地域医療支援病院
	26	社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院	大田区	地域医療支援病院
	27	東京労災病院	大田区	地域医療支援病院
	28	地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立荏原病院	大田区	地域医療支援病院

【別紙】紹介受診重点医療機関として協議が整った医療機関一覧(2/5) ※塗りつぶしは新規

※特定機能病院・地域医療支援病院はR7.4.1時点

圏域	No	医療機関名称	区市町村	備考
区 西 南 部	29	東邦大学医療センター大橋病院	目黒区	地域医療支援病院
	30	国家公務員共済組合連合会 東京共済病院	目黒区	地域医療支援病院
	31	国家公務員共済組合連合会 三宿病院	目黒区	
	32	独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター	目黒区	地域医療支援病院
	33	公益財団法人 日産厚生会 玉川病院	世田谷区	
	34	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター	世田谷区	地域医療支援病院
	35	JR東京総合病院	渋谷区	
	36	日本赤十字社医療センター	渋谷区	地域医療支援病院
	37	山本英博クリニック	渋谷区	
	38	地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立広尾病院	渋谷区	地域医療支援病院
区 西 部	39	東京医科大学病院	新宿区	特定機能病院
	40	独立行政法人 地域医療機能推進機構 東京新宿メディカルセンター	新宿区	地域医療支援病院
	41	慶應義塾大学病院	新宿区	特定機能病院
	42	東京女子医科大学病院	新宿区	
	43	独立行政法人 地域医療機能推進機構 東京山手メディカルセンター	新宿区	地域医療支援病院
	44	国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター	新宿区	特定機能病院
	45	地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立大久保病院	新宿区	地域医療支援病院
	46	医療法人財団 健貢会 総合東京病院	中野区	地域医療支援病院
	47	一般財団法人 自警会 東京警察病院	中野区	
	48	医療法人財団 荻窪病院	杉並区	地域医療支援病院
	49	社会医療法人河北医療財団 河北総合病院	杉並区	地域医療支援病院
	50	杏林大学医学部付属杉並病院	杉並区	

# 【別紙】紹介受診重点医療機関として協議が整った医療機関一覧(3/5) ※塗りつぶしは新規

※特定機能病院・地域医療支援病院はR7.4.1時点

圏域	No	医療機関名称	区市町村	備考
区西北部	51	地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立大塚病院	豊島区	地域医療支援病院
	52	公益社団法人地域医療振興協会 東京北医療センター	北区	地域医療支援病院
	53	医療法人社団 田端放射線科クリニック	北区	
	54	東京都健康長寿医療センター	板橋区	地域医療支援病院
	55	医療法人財団 明理会 明理会東京大和病院	板橋区	
	56	帝京大学医学部附属病院	板橋区	特定機能病院
	57	日本大学医学部附属板橋病院	板橋区	特定機能病院
	58	医療法人社団 明芳会 板橋中央総合病院	板橋区	
	59	地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立豊島病院	板橋区	地域医療支援病院
	60	学校法人 順天堂 順天堂大学医学部附属練馬病院	練馬区	地域医療支援病院
	61	公益社団法人 地域医療振興協会 練馬光が丘病院	練馬区	地域医療支援病院
区東北部	62	東京女子医科大学附属足立医療センター	足立区	地域医療支援病院
	63	医療法人社団 明芳会 イムス葛飾ハートセンター	葛飾区	
	64	医療法人社団 直和会 平成立石病院	葛飾区	
	65	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター	葛飾区	地域医療支援病院
	66	地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立東部地域病院	葛飾区	地域医療支援病院
	67	イムス東京葛飾総合病院	葛飾区	
区東部	68	同愛記念病院	墨田区	地域医療支援病院
	69	地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立墨東病院	墨田区	地域医療支援病院
	70	順天堂大学医学部附属 順天堂東京江東高齢者医療センター	江東区	
	71	昭和医科大学江東豊洲病院	江東区	地域医療支援病院
	72	公益財団法人 がん研究会 有明病院	江東区	特定機能病院
	73	社会医療法人社団 順江会 江東病院	江東区	
	74	日本私立学校振興・共済事業団 東京臨海病院	江戸川区	地域医療支援病院
	75	社会医療法人社団 森山医会 森山記念病院	江戸川区	

# 【別紙】紹介受診重点医療機関として協議が整った医療機関一覧(4/5) ※塗りつぶしは新規

※特定機能病院・地域医療支援病院はR7.4.1時点

圏域	No	医療機関名称	区市町村	備考
西多摩	76	市立青梅総合医療センター	青梅市	地域医療支援病院
南多摩	77	医療法人社団 親和会 野猿峠脳神経外科病院	八王子市	
	78	東海大学医学部附属八王子病院	八王子市	地域医療支援病院
	79	東京医科大学八王子医療センター	八王子市	地域医療支援病院
	80	町田市民病院	町田市	地域医療支援病院
	81	日野市立病院	日野市	地域医療支援病院
	82	日本医科大学多摩永山病院	多摩市	地域医療支援病院
	83	地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立多摩南部地域病院	多摩市	地域医療支援病院
北多摩西部	84	国家公務員共済組合連合会 立川病院	立川市	地域医療支援病院
	85	立川相互病院	立川市	地域医療支援病院
	86	独立行政法人 国立病院機構 災害医療センター	立川市	地域医療支援病院
	87	社会医療法人財団 大和会 東大和病院	東大和市	地域医療支援病院
	88	独立行政法人 国立病院機構 村山医療センター	武蔵村山市	
北多摩南部	89	武蔵野赤十字病院	武蔵野市	地域医療支援病院
	90	杏林大学医学部附属病院	三鷹市	特定機能病院
	91	医療法人社団 實理会 東京国際大塚病院	三鷹市	
	92	府中恵仁会病院	府中市	地域医療支援病院
	93	公益財団法人榊原記念財団附属榊原記念病院	府中市	地域医療支援病院
	94	地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立多摩総合医療センター	府中市	地域医療支援病院
	95	地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立小児総合医療センター	府中市	
	96	東京慈恵会医科大学西部医療センター	狛江市	地域医療支援病院

**【別紙】紹介受診重点医療機関として協議が整った医療機関一覧(5/5) ※塗りつぶしは新規**

※特定機能病院・地域医療支援病院はR7.4.1時点

圏域	No	医療機関名称	区市町村	備考
北多摩北部	97	公立昭和病院	小平市	地域医療支援病院
	98	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院	小平市	
	99	地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立多摩北部医療センター	東村山市	地域医療支援病院
	100	独立行政法人 国立病院機構 東京病院	清瀬市	地域医療支援病院
	101	公益財団法人 結核予防会 複十字病院	清瀬市	地域医療支援病院